

イスターカーテン ワイドタイプ框ドア付 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

——目次——

□施工上の注意事項	P 2
□必要工具類の確認	P 2
□基本納まり(片引き)	P 3
□梱包内容	P 3 ~ 4
□取り付け手順	P 4
1 折戸・框ドアの吊込み	P 5 ~ 11
■ 折戸・框ドアの構成	P 5
■ はね出しガイドレール・インナーレールの取り外し	P 6
■ 折戸の吊込み Aタイプ	P 7
■ 折戸の吊込み Bタイプ	P 8
■ 折戸の連結	P 9
■ 框ドアの吊込み	P 9
■ 丁番位置の調整	P 10
■ レバーハンドルの取り付け	P 11
■ ドアクローザーの取り付け	P 11
2 折戸・框ドアの建付け調整	P 12 ~ 14
■ 折戸ストッパーの調整	P 12
■ 吊元ストッパーの調整ラベル	P 13
■ 吊元ストッパーの位置	P 13
■ 吊元ストッパーの取付	P 14
□施工後の点検	P 15
□折戸ガラスの嵌め込み説明書	P 16

□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 折戸、框ドア本体は重いので、二人以上で扱うなど、施工には十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

□必要工具類の確認

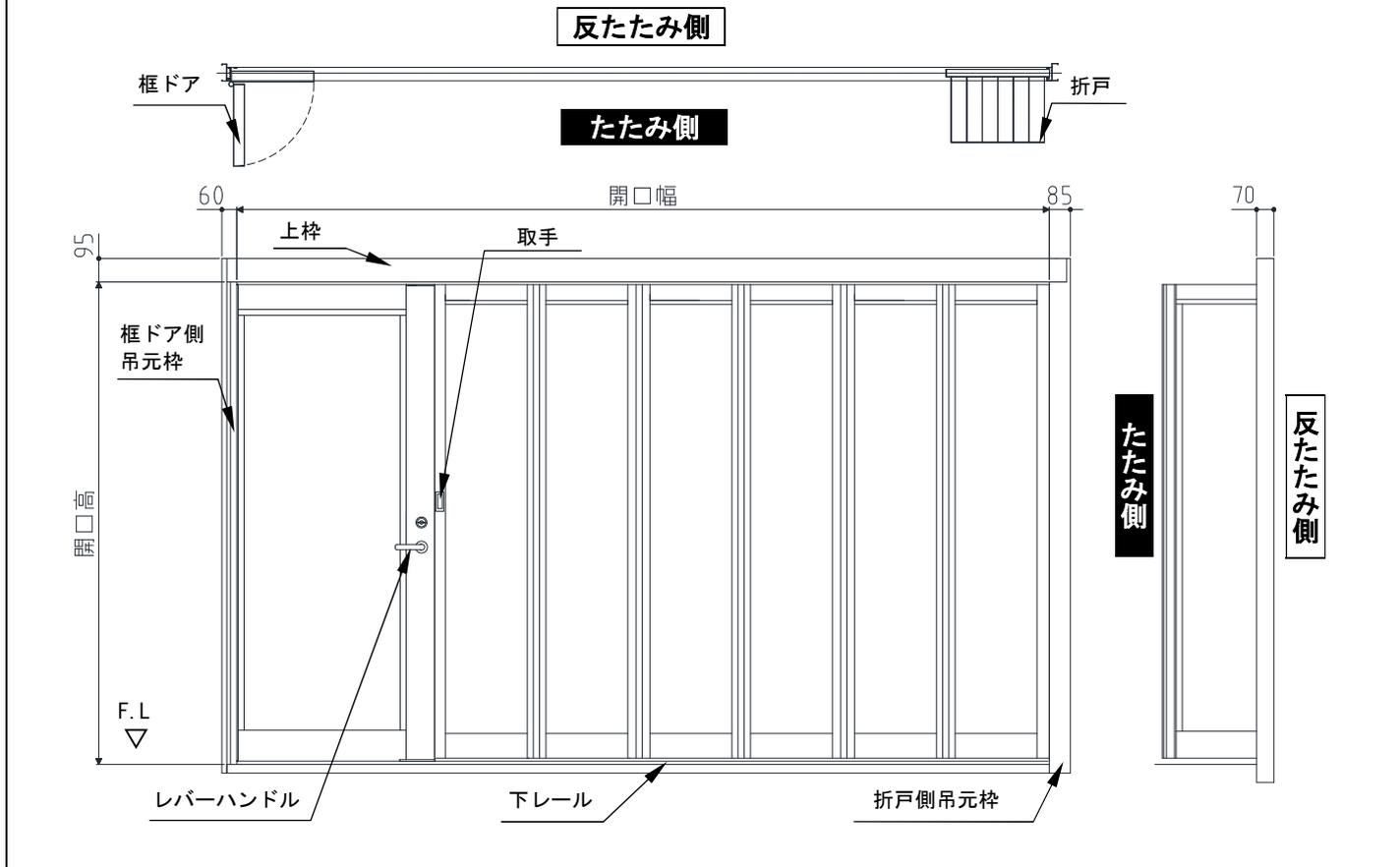
(+)手動ドライバー 2号	鋼製巻尺
カッター	水平器
電動インパクトドライバー	脚立
ニッパー	足場板
ひも	

□基本納まり

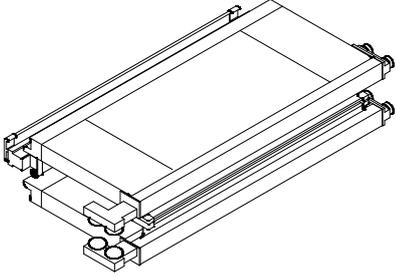
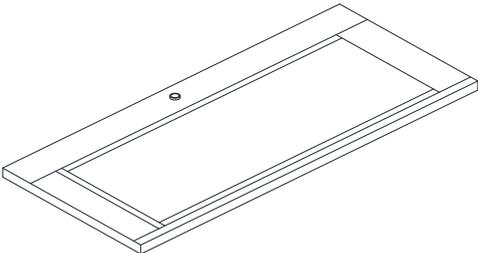
[片引き]

本図は、片引き:右勝手を示す。

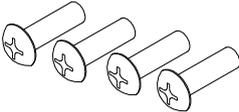
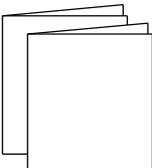
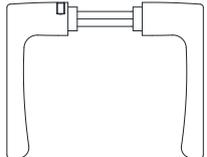
※寸法単位はmmです。



□梱包内容

品名	形状	個数	備考
折戸		必要数	
框ドア		1	

■同梱部品

連結金具セット		必要数	タッピンねじトラス 2 種 M4×8
取付説明書 取扱説明書		必要数	框ドアに同梱 注意 同梱されている 取扱説明書は、 必ず施主様に お渡しください。
ドアクローザー	本体	1	框ドアに同梱 注意 同梱されている 取扱説明書は、 必ず施主様に お渡しください。
	取付説明書 取扱説明書	1セット	
レバーハンドル		1セット	框ドアに同梱

□取り付け手順

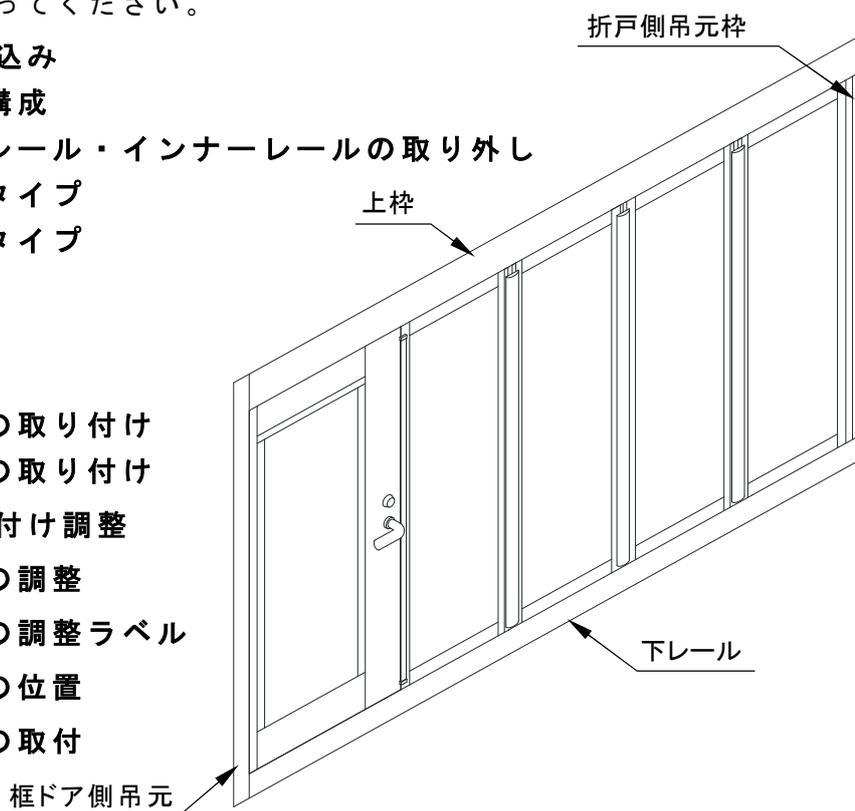
施工は、以下の手順でおこなってください。

1 折戸・框ドアの吊込み

- 折戸・框ドアの構成
- はね出しガイドレール・インナーレールの取り外し
- 折戸の吊込み Aタイプ
- 折戸の吊込み Bタイプ
- 折戸の連結
- 框ドアの吊込み
- 丁番位置の調整
- レバーハンドルの取り付け
- ドアクローザーの取り付け

2 折戸・框ドアの建付け調整

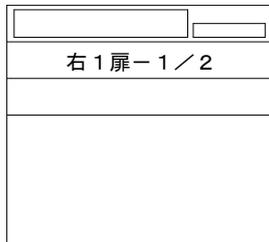
- 折戸ストッパーの調整
- 吊元ストッパーの調整ラベル
- 吊元ストッパーの位置
- 吊元ストッパーの取付



1 折戸・框ドアの吊込み

■折戸・框ドアの構成

折戸は、仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、折戸の配置を確認してください。
吊元枠に近い折戸から吊り込む仕様になっています。

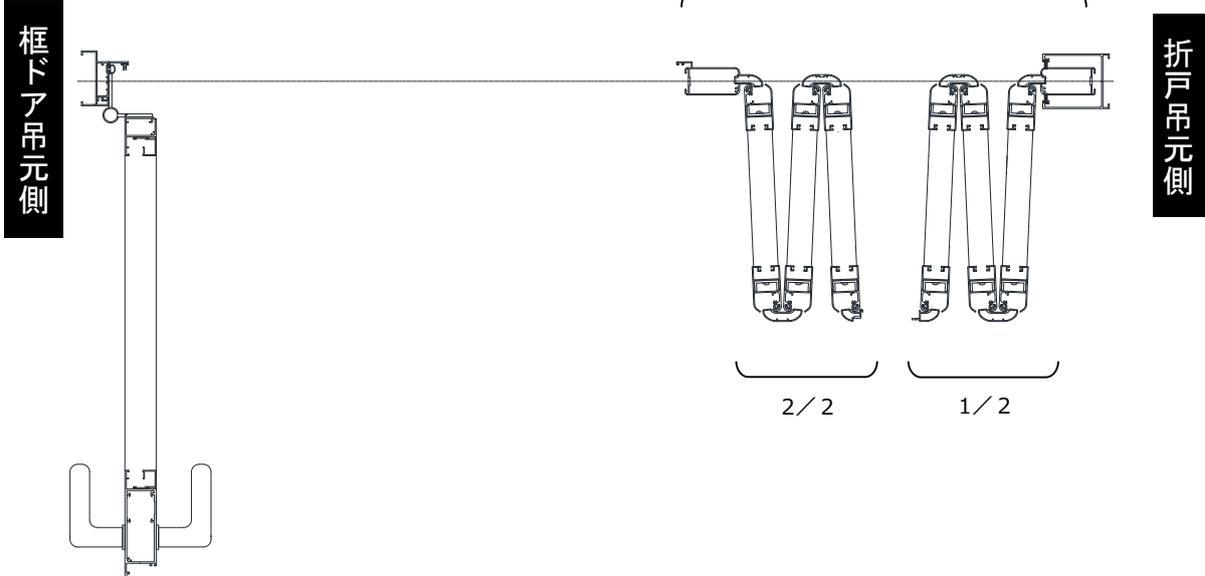


折戸の吊元からの位置・順番
※各勝手の吊元からの順番を示す

分割された折戸の吊元からの位置・順番

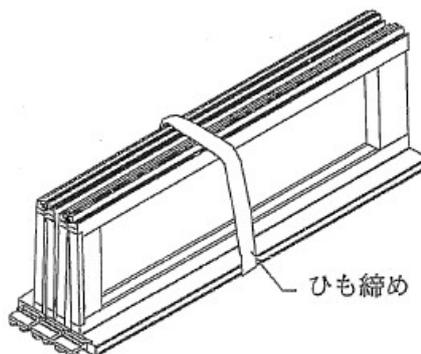
【片引き右勝手1連の場合の表記例】

右1扉-*/*



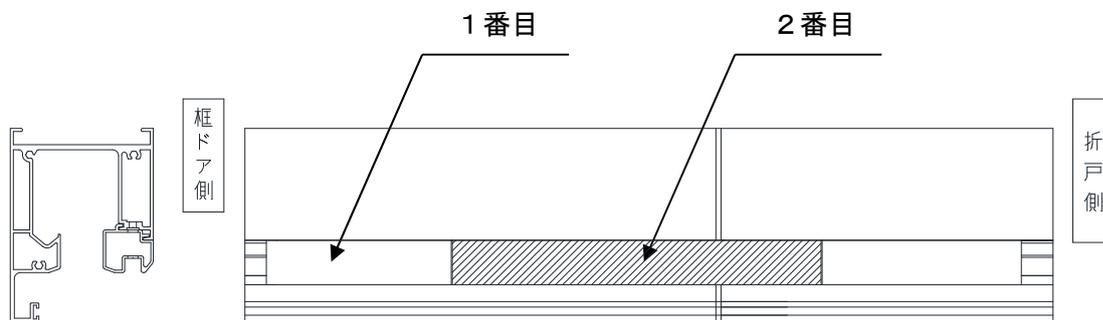
<折戸の吊込み準備>

折戸をたたみ、ひも等で仮締めしてください。

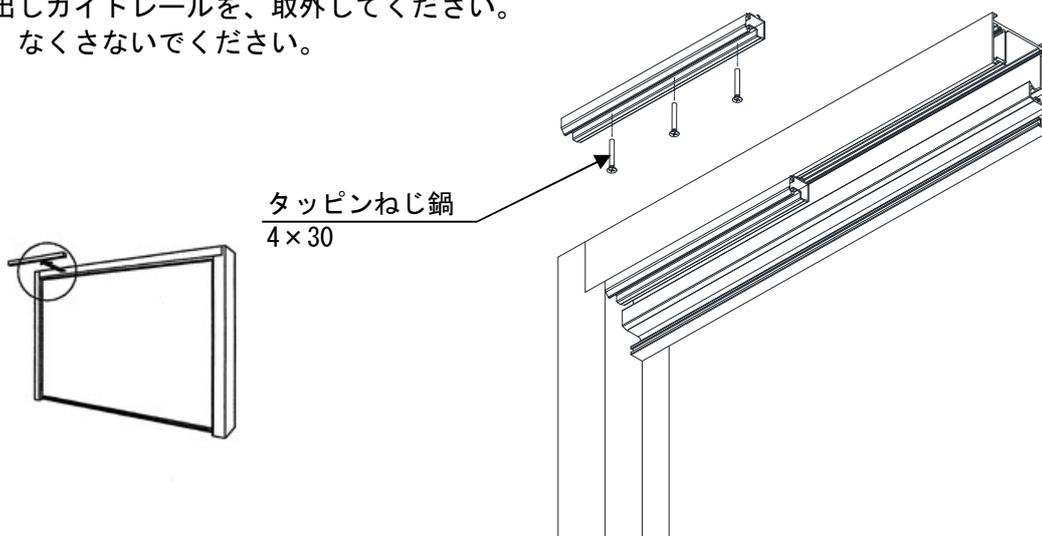


■はね出しガイドレールの取外し

下図に示すハッチング箇所のはね出しガイドレールを取り外してください。
(框ドア側から2番目のはね出しガイドレール)

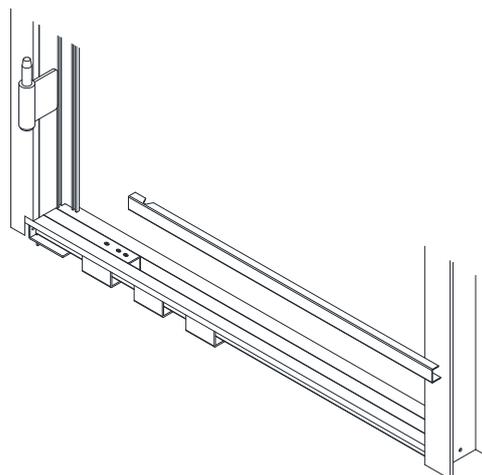


図のようにはね出しガイドレールを、取外してください。
取外したねじは、なくさないでください。



■インナーレールの取り外し

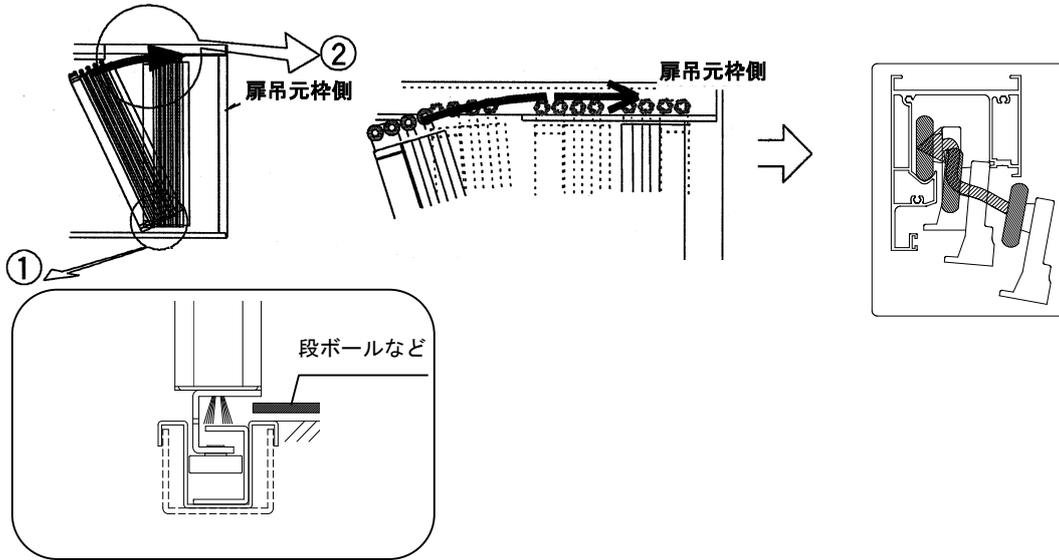
図のようにインナーレールを取り外してください。



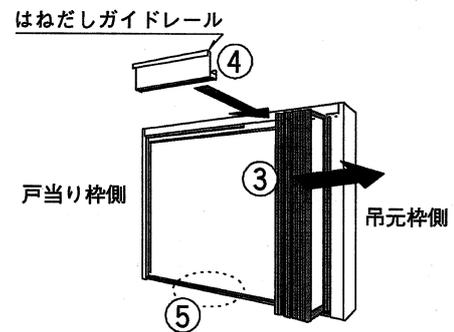
■折戸の吊込みAタイプ

<注意>Hが2500以下の場合、折戸の吊込み手順が吊込みBタイプ（P8参照）になる場合があります。

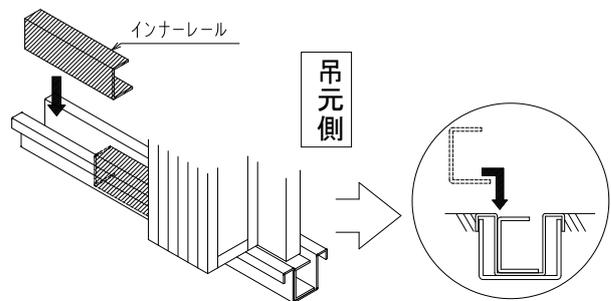
- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の折戸取り付け位置に斜めにセットし、下部ローラーを下部レールの溝にはめ込み
図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように折戸を起こして吊込んでください。
- ③折戸をすべて折戸吊元側へ送り込んでください。



- ④先に取外したガイドレールを取り付けてください。

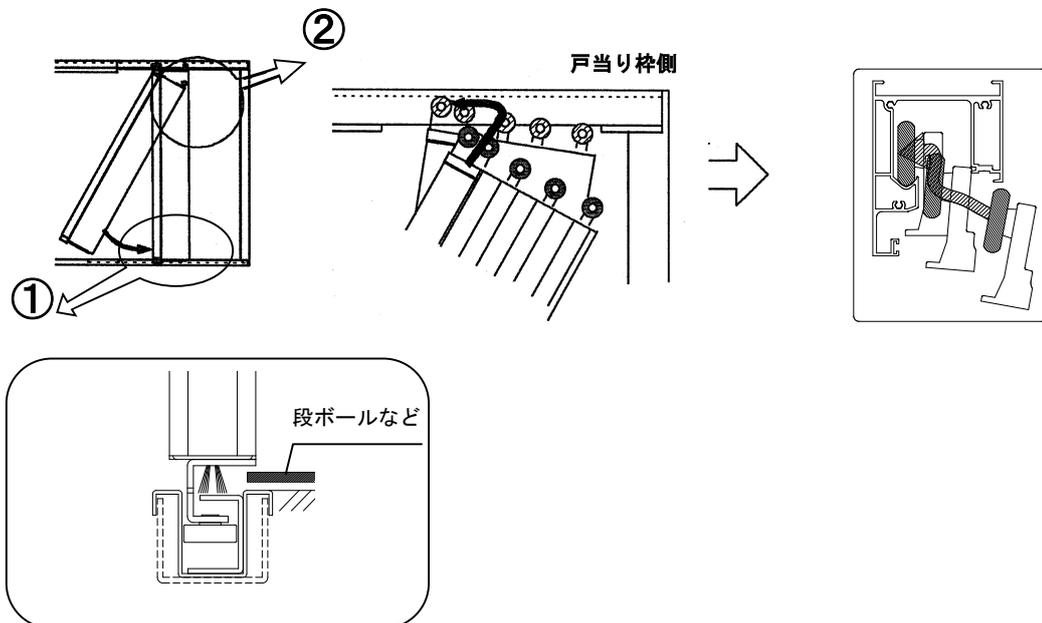


- ⑤取外したインナーレールをセットしてください。
折戸吊元側のインナーレールから順番にセットしてください。

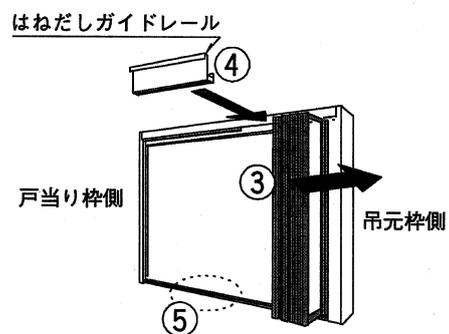


■折戸の吊込みBタイプ（片引き2枚の場合）

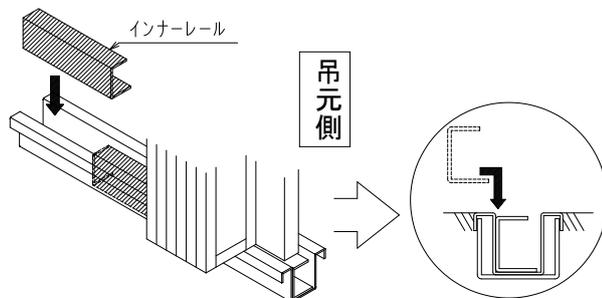
- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の折戸取り付け位置に斜めにセットし、図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように折戸を起し下部ローラーを下レールの溝にはめ込み吊込んでください。
- ③折戸をすべて折戸吊元側へ送り込んでください。



- ④先に取外したガイドレールを取り付けてください。



- ⑤取外したインナーレールをセットしてください。
折戸吊元側のインナーレールから順番にセットしてください。

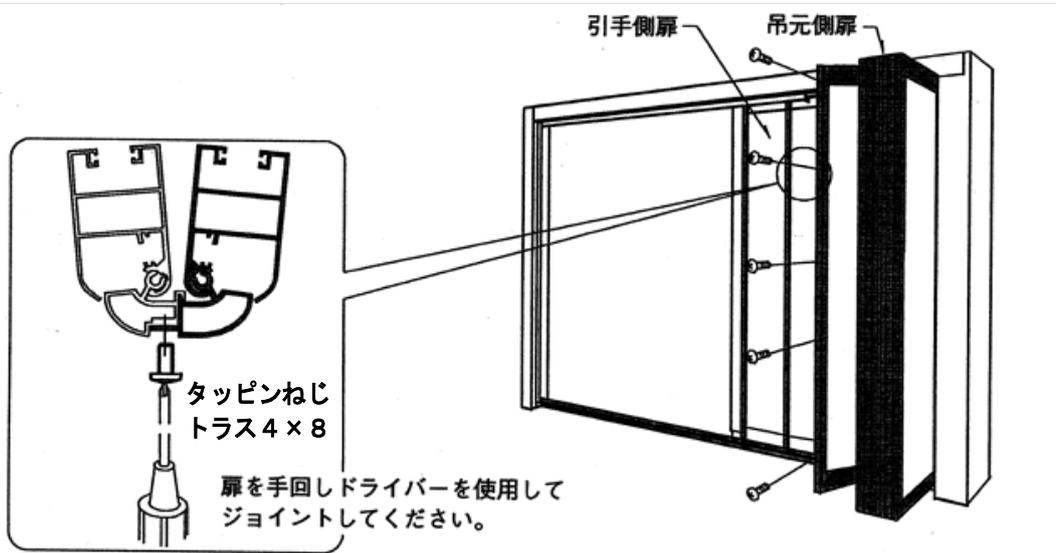


■折戸の連結

- ・吊元側扉と引手側扉をねじ（タッピンねじトラス4×8）でジョイントしてください。このとき、ジョイント部が下図のように、組み合っていることを、確認してください。
- ・折戸連結は、必ず手回しドライバーを使用してジョイントしてください。

電動ドライバーは絶対使用しないでください。

- ・電動ドライバーを使用した場合、ねじの締付けが出来なくなる場合があります。

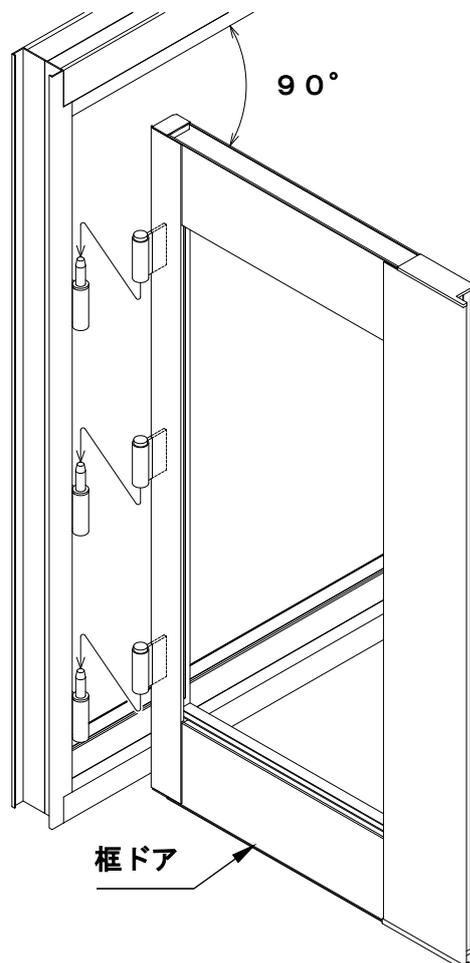


■框ドアの吊込み

框ドアは、室外側から吊込みます。

- ・丁番に取り付いている袋を取り外してください。
- ・框ドアを枠に対し、90°開いた状態にしてください。
- ・框ドアを持ち上げ、扉の丁番を枠下側の丁番に差し込んでください。この際、框ドアを枠などにぶつけないよう、気を付けてください。

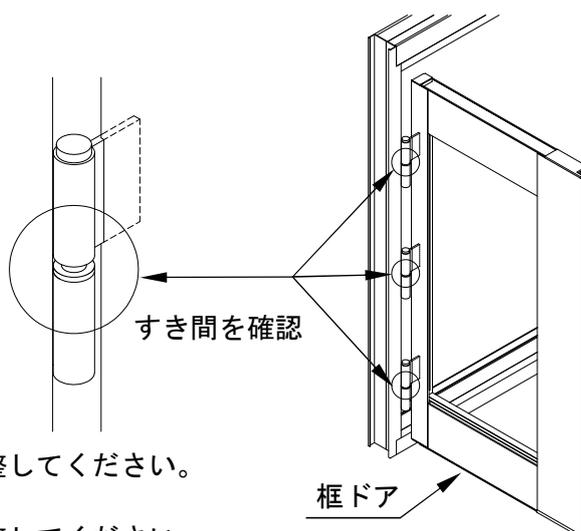
注意 框ドアの吊込み後は、必ず、丁番部のすき間を確かめてください。(P10参照) すき間があると、框ドアの開閉に支障をきたすおそれがあります。



■ 丁番位置の確認

・ 丁番部のすき間を確認してください。

框ドアを枠に対し、90° 開いた状態にし、
 丁番に右図のようなすき間がある場合は、
 框ドア側の丁番にて調整を行ってください。



< 上部、中央部丁番にすき間がある場合 >

框ドア側上部、中央部丁番を下げる方向に調整してください。

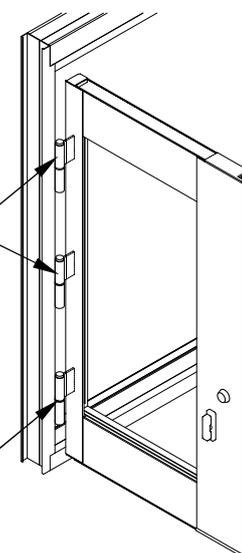
< 下部丁番にすき間がある場合 >

框ドア側上部、中央部丁番を上げる方向に調整してください。

注意 丁番調整は、必ず、框ドア側丁番の上部および中央部のみを調整してください。
 下部丁番および、枠側丁番は、動かさないでください。

框ドア側丁番の上部と中央部にて調整を行う

下部丁番と枠側丁番は動かさない



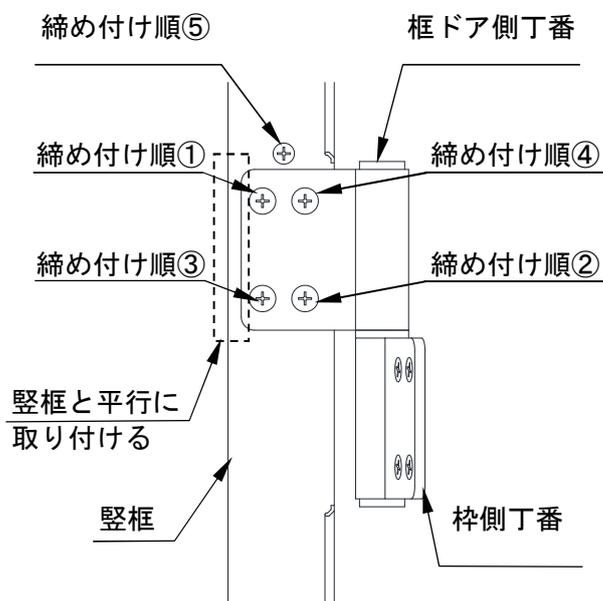
■ 丁番位置の調整方法

・ 右図示のねじ5本をすべてゆるめてください。

注意 ねじは、ゆるめる程度とし、取り外さないでください。
 ねじをすべて取り外してしまうと丁番裏板が落下し、
 丁番が取り付けられなくなります。

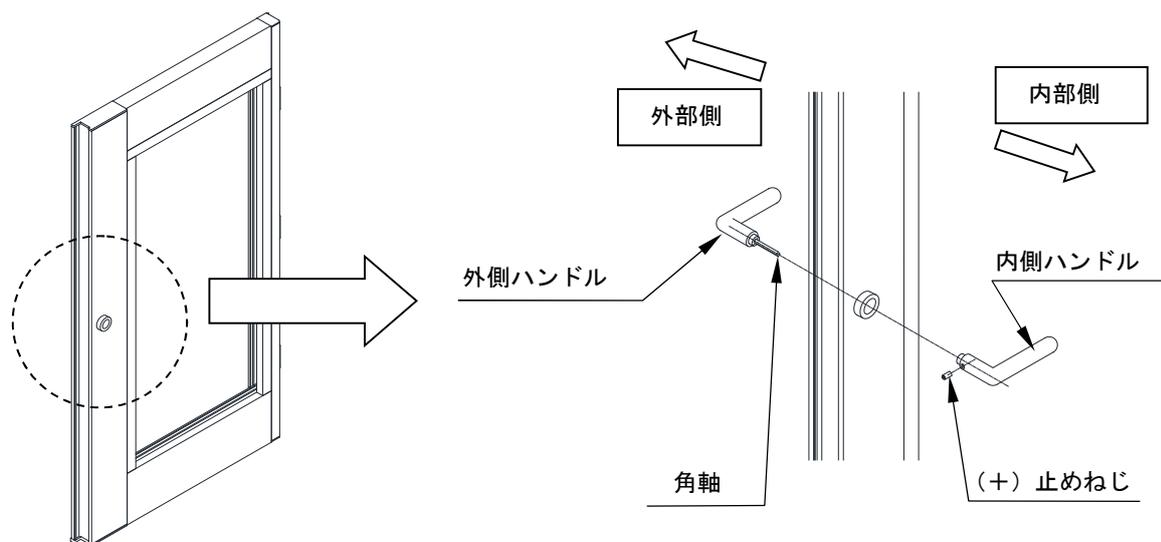
・ すき間がなくなるように框ドア側丁番を調整してください。

・ 調整後、ねじを締め付ける際は、丁番が傾かないよう
 堅框に対し平行に取り付けてください。
 また、ねじを締め付ける順番は右図を参考に行ってください。



■レバーハンドルの取り付け

- ・外部側より、外側ハンドルを框ドアに取り付けます。
- ・外側ハンドルの角軸に内側ハンドルを嵌め込み、(+)止めねじにて取り付けます。



■ドアクローザーの取り付け

同梱されているドアクローザーの取付説明書に従って取り付けます。

※取り付け用の加工は枠、框ドア共にされていますので、勝手の間違いが無いように取り付けてください。

※ドアクローザーの取扱い説明書も同梱されています。

施工終了後、必ずお施主様にお渡しください。

注意 ドアクローザーの調整はガラス施工終了後に行なってください。
ガラス施工前には調整できません。

2 折戸・框ドアの建付け調整

■折戸ストッパーの確認

・折戸を全閉し、折戸フランス落し棒を落とした状態で、
框ドアがスムーズに開閉できるか確認してください。

＜框ドアと折戸の間にすき間ができ、框ドアのラッチがしっかりかからない場合＞

下レールに取り付けてある折戸ストッパーを框ドア側へ調整してください。

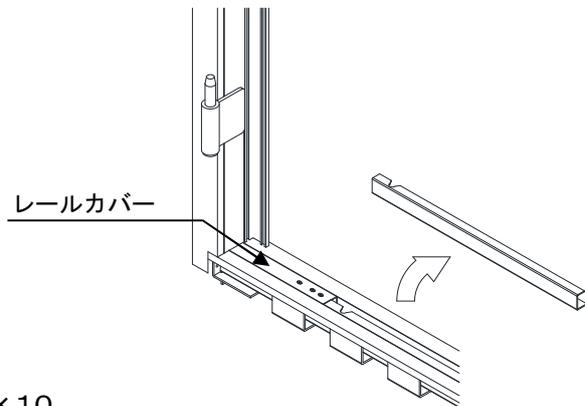
＜框ドアと折戸の距離が近く、折戸に当たって框ドアが閉まりきらない場合＞

下レールに取り付けてある折戸ストッパーを折戸側へ調整してください。



■折戸ストッパーの調整方法

・図のように框ドア吊元側のレールカバー隣にある
インナーレールを取り外します。

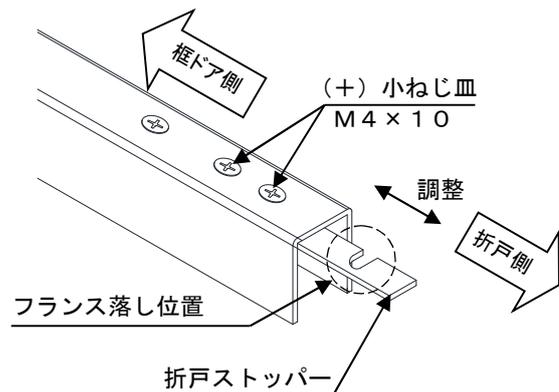


・レールカバー先端の方についている(+)小ねじ皿M4×10
2本をゆるめます。

折戸ストッパーが動くようになるので、フランス落し位置を
調整し、ゆるめたねじを締めます。

注意 → ねじをゆるめすぎると、折戸ストッパーが
取り外れてしまいます。

・インナーレールを戻し、折戸を閉めて、折戸フランス落しの
落し棒が落ちるか確認します。



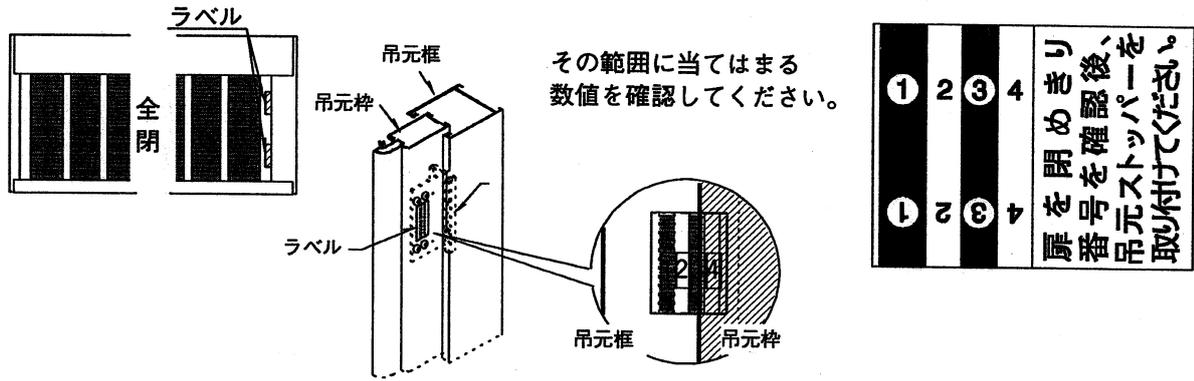
・框ドアを閉め、開閉がスムーズに行えるかを確認します。

※開閉がスムーズに行えない場合、上記の作業をもう一度行い、
折戸ストッパーを再度調整してください。

・調整が終わったら、最後にゆるめたねじがしっかり締まっているか
確認してください。

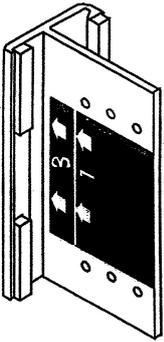
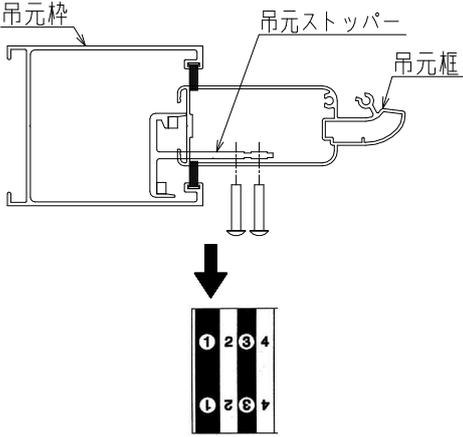
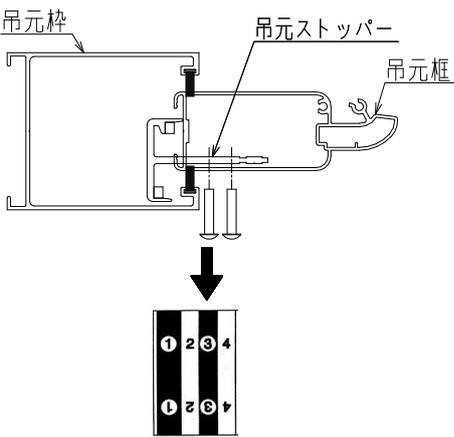
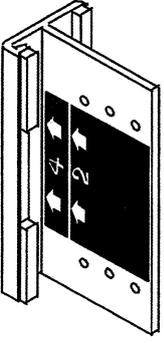
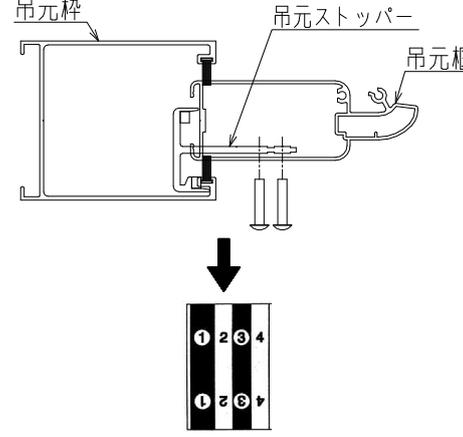
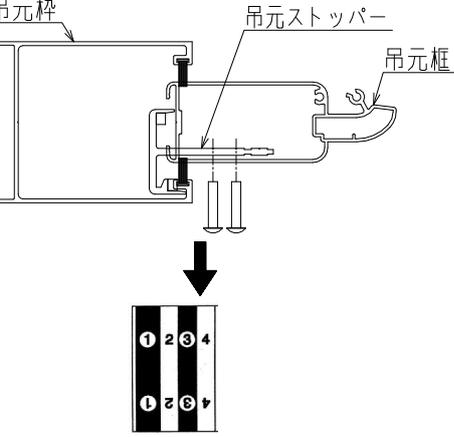
■吊元ストッパーの調整ラベル

折戸の吊込み、連結ヒンジ框の取り付け後に全閉状態にしてください。
 全閉時の吊元枠と吊元枠の重なり位置を、上下に貼付けてある吊元調整ラベルにて確認してください。
 その範囲の番号によって、吊元ストッパーの取り付け位置を決定してください。



■吊元ストッパーの位置

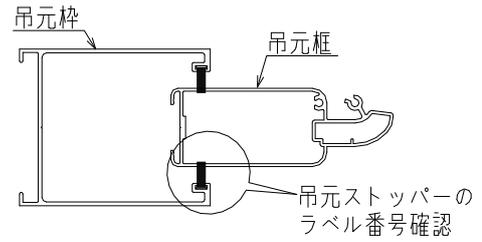
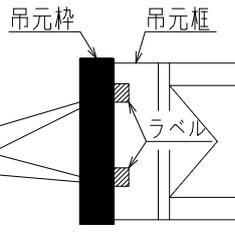
吊元ストッパーの取り付け面に注意してください。

<p>吊元調整ラベルが1, 3の場合</p> 	<p>[ラベル番号1の設定]</p> 	<p>[ラベル番号3の設定]</p> 
<p>吊元調整ラベルが2, 4の場合</p> 	<p>[ラベル番号2の設定]</p> 	<p>[ラベル番号4の設定]</p> 

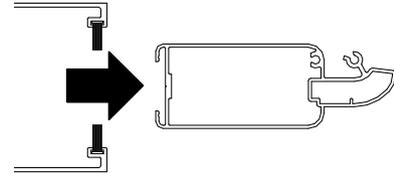
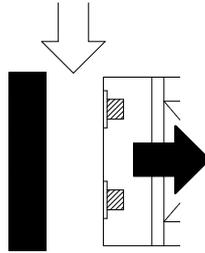
■吊元ストッパーの取り付け

- ①図を参照して上下とも吊元ストッパーの番号設定位置を確認してください。

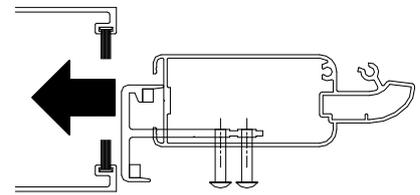
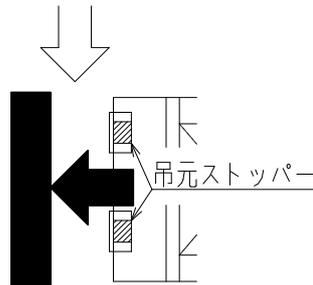
上下とも吊元ストッパーのラベル番号の確認を行ってください。上と下で番号が違ふ場合があります。



- ②一度吊元枠より吊元枠を外してください。



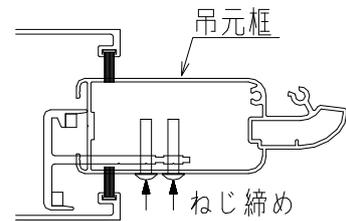
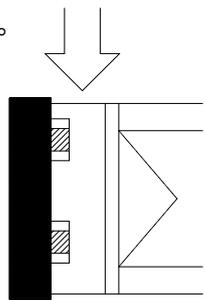
- ③吊元ストッパーを仮止めしてください。再度吊元枠に入れてください。



仮止めしてください。

注意 → ねじを締めすぎると吊元枠に吊元ストッパーが入り難くなります。

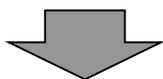
- ④仮止めされた吊元ストッパーのねじを締めてください。



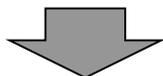
- ⑤最後に吊元調整ラベルをはがしてください。

■ 施工後の点検

■ 取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

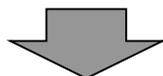


■ 本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。

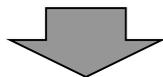


■ 折戸、框ドアの開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 折戸、框ドアが全開できること。
- ・ 突合わせ部にすき間がないこと。



■ ガラスの施工後に ドアクローザーの調整を行ってください。



■ ガラスの施工後に再度 折戸、框ドアの開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 折戸、框ドアが全開できること。
- ・ 突合わせ部にすき間がないこと。



■ ねじ止め禁止ラベルおよび吊元調整ラベルをはがしてください。



注意 ドアクローザーの調整は、同梱の取付説明書に従い行ってください。
ガラス施工前には調整できません。

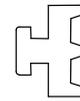
折戸ガラスのはめ込み説明書

1 ガラスビード一覧

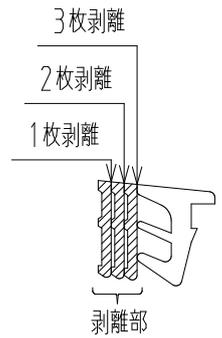
- ・使用ガラス厚に応じたガラスビードの使い分けは、下記表の通りにおこなってください。
- ・先付けビードは、折戸にセットされています。

使用ガラス厚	後付けビード
3 mm	○
4 mm	1枚剥離
5 mm	2枚剥離
6 mm	3枚剥離
6.8 mm	3枚剥離

○印は、剥離せず、そのまま使用して下さい。

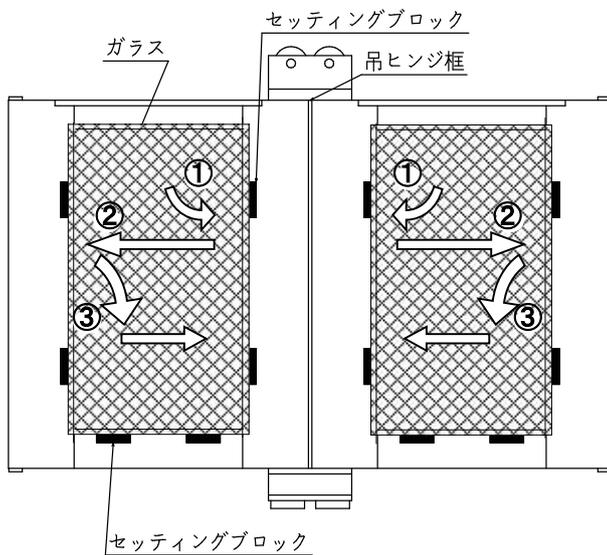


先付けビード
(折戸にセット済み)

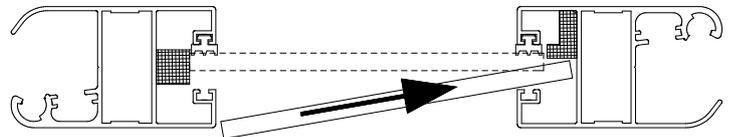


後付けビード

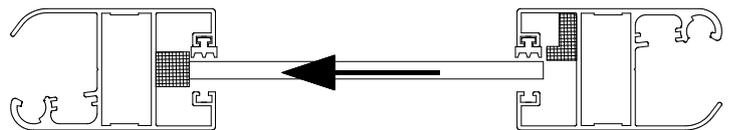
2 ガラスのはめ込み



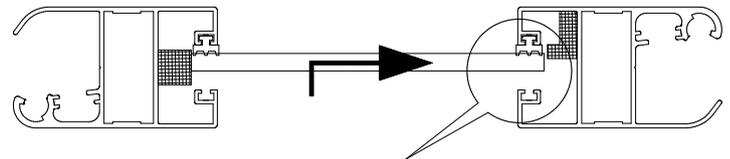
①吊ヒンジ框側にガラスをのみ込ませてください。



②羽だし側ヒンジ框に移動させてください。



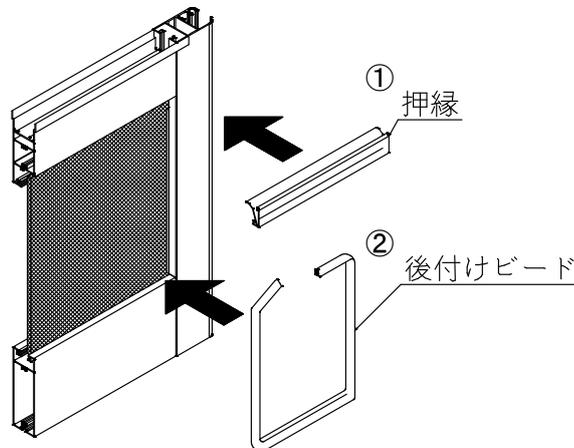
③下セッティングブロックの上に乗せて先付けビード側にガラスを押し、吊ヒンジ框側のセッティングブロックに当ててください。



1mm~2mm程度しかかかりません。

3 ガラスの位置決め

- ①押縁を取り付けます。
- ②後付けビードを取り付けます。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234